

講義名	福祉行財政と福祉計画		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	中西 一人		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 4時限		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	14069

主題と概要

社会経済の発展につれ、家族機能や地域共同体をはじめとする国民生活の変容やそれに伴う福祉理念の変化等を背景に、福祉制度は常に見直されてきたが、その要因の分析を踏まえつつ今後の福祉のあり方を考察する。

到達目標

福祉の歴史及び福祉行財政の状況について理解する。
各福祉計画の目的、内容、推進方策について理解する。

提出課題

授業中に提示する。

評価の基準

授業中に提示する課題への取り組み及び期末試験で総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

教科書

よくわかる福祉行財政と福祉計画	永田裕、岡田忠克編	ミネルヴァ書房 2,600円 + 税

プリント資料及び参考文献

資料： 必要に応じて配布及び公的文書のダウンロードを指示する。
参考文献： 厚生労働白書

授業計画

- 1 オリエンテーション 福祉制度の歴史 < - 1 ~ 6 >
 - 2 福祉制度の歴史(承前) 福祉行財政の動向 < >
 - 3 福祉行政の実施体制(国一都道府県一市区町村) < - 7 ~ 12 >
 - 4 福祉行政組織とその役割 < > 福祉専門職とその役割 < >
 - 5 福祉財政制度 < - 1 ~ 3 >
 - 6 福祉サービスの利用と費用負担 < - 4 ~ 7 >
 - 7 福祉計画の目的と意義 < 、 - 1 ~ 2 >
 - 8 福祉計画策定の方法 < >
 - 9 地域福祉計画、地域福祉活動計画 < - 15 ~ 18 >
 - 10 老人福祉計画、介護保険事業計画 < - 3 ~ 6 >
 - 11 老人福祉計画、介護保険事業計画(承前)
 - 12 子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画 < - 7 ~ 10 >
 - 13 障害者計画、障害福祉計画 < - 11 ~ 14 >
 - 14 関連計画(保健医療計画、住生活基本計画等)
 - 15 授業のまとめと期末試験の説明
- < > は教科書における該当する章一節を表す

予習・復習

授業の前に教科書の関係部分を通読しておくこと

備考